

Boys, be ambitious!

2025 秋号 vol.39

REIWA

R7

No.2

甲府一高通信

あらたな一歩を踏み出そう！

FiRST STEP

Kofu First High School

完走だけがゴールではない。
それでも完走者にしか見えない
「何か」を求めずにはいけない。
それが甲府一高の強行遠足だ。

(3年男子)



完走のチャンスはあと一回。何としてでも小諸に行く。

(3年男子)

甲府第一高等学校

強行遠足特集

令和7年10月4日(土)・5日(日)実施 第97回強行遠足体験文から

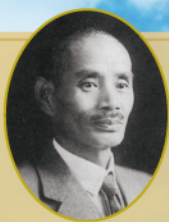


梨県立甲府第一高等学校 強行遠足
女子最終到達地点
小海 救護検印所



小海まで辿り着けなかった悔しさがずっと心に残っていた。

去年の自分を乗り越えたい…。(3年女子)



江口校長は、何を生徒に伝えようとして「強行遠足」を始められたのだろうか。
また、かくも多くの同窓生が「強行遠足」から尊い経験、教訓を得て
その後の人生の糧としているのはなぜであろうか。(第90回強行遠足記念誌)



冷たい雨が降る中を黙々と歩く。
頭に覆ったタオルで視野が狭い。顔
は自然と下を向く。目線の先には己
の足があった。(3年女子)



3年生として、できるだけ下
級生に励ましの声を掛けた。
そのことがあきらめない心を
強くすることを一高生は知っ
ているのだから。

(3年男子)



前進停止時刻が迫ってくる。心も体も疲れ
切って「まきば公園」にたどり着いた。吹奏楽
の演奏がきこえた時、涙が溢れた。こころが
軽くなった。深く一礼した。感謝の気持ちを
伝えたかった。(1年女子)



野辺山のしじみ汁も今年は我
慢した。休みすぎて足が動かなく
なった昨年を踏まえての改善点の
一つだ。おにぎりもダメだ。きつ
くなってくると食欲も湧かない…。
今年は自分が好きなインゼリー
やカロリーメイトにしてみた。効
果あり。時間にも、気持ちにも余
裕が生まれた。(2年男子)



辛いとき、余裕のないと
きほど本当の自分が出ると
思う。そんな時でも他人を
思いやることができる人にな
ろう。横を通り過ぎていく
とき励ましてくれた先輩のよ
うに…。(1年男子)



泣きながらゴールした余裕のなかった去年。もう底をついたと思って
いたエネルギーが自分の内側から湧いてくるのが分かった今年。あと1
回…次は日の出前に完走を目指す。(2年男子)

雨が止んだ3時ころ、歩いていた所は灯りの少ない農道だった。
最悪の気分で見上げた空。多くの星が、濃紺の空に透明感を与えてくれていた。
星の輝きなのか、濃紺の空の清々しさなのか…。こんな星空見たことがない。
人生最高の気分だ。気づいたら笑みがこぼれていた。(1年男子)

